

35mm フィルムで見るクリント・イーストウッズの軌跡

Clint Eastwood on 35mm HP 公開のお知らせ

平素よりお世話になっております。

10月29日(木)より開催いたします「35mmフィルムで見るクリント・イーストウッズの軌跡」のHPを公開いたしましたので、お知らせいたします。13作品全て、DCP(デジタルシネマパッケージ)ではなく、公開当時と同じく35mmフィルムで上映いたします。35mmフィルムならではの光や色彩表現を堪能できる大変貴重な上映となります。また、『父親たちの星条旗』は、公開当時の日本語吹替版も特別に上映いたします。詳しい上映スケジュールやチケット情報等は、HPをご覧ください。

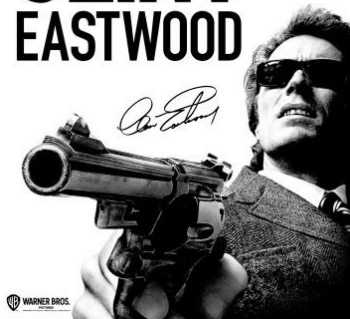
なお、**10月29日(木)～11月8日(日)は長瀬記念ホール OZU [2階]**で、**11月10日(火)～12月6日(日)は小ホール [地下1階]**にて上映いたします。

また、**前売指定席券のみ扱い、会場でのチケットの販売はありません(障害者および国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズも前売指定席券のみ)**。

35mmフィルムで見る
クリント・イーストウッズの軌跡



CLINT
EASTWOOD



ポスタービジュアル

上映作品一覧 (計13作品)

1. 『ダーティハリー』(1971年、ドン・シーゲル監督)
2. 『許されざる者』(1992年、クリント・イーストウッズ監督)
3. 『マディソン郡の橋』(1995年、クリント・イーストウッズ監督)
4. 『目撃』(1997年、クリント・イーストウッズ監督)
5. 『真夜中のサバナ』(1997年、クリント・イーストウッズ監督)
6. 『トゥルー・クライム』(1999年、クリント・イーストウッズ監督)
7. 『スペース カウボーイ』(2000年、クリント・イーストウッズ監督)
8. 『ブラッド・ワーク』(2002年、クリント・イーストウッズ監督)
9. 『ミスティック・リバー』(2003年、クリント・イーストウッズ監督)
10. 『父親たちの星条旗』(2006年、クリント・イーストウッズ監督)
『父親たちの星条旗』 **[日本語吹替版]** (2006年、クリント・イーストウッズ監督)
11. 『硫黄島からの手紙』(2006年、クリント・イーストウッズ監督)
『硫黄島からの手紙』 **[英語字幕付]** (2006年、クリント・イーストウッズ監督)
12. 『グラン・トリノ』(2008年、クリント・イーストウッズ監督)
13. 『インビクタス/負けざる者たち』(2009年、クリント・イーストウッズ監督)

作品詳細

1. 『**ダーティハリー**』 (1971年、ドン・シーゲル監督)
主演：クリント・イーストウッド、ハリイ・ガーディノ
イーストウッド演じる一匹狼の刑事ハリイ・キャラハンが、44 マグナムで犯人を追い詰める。「ダーティハリー」シリーズの第一作。
2. 『**許されざる者**』 (1992年、クリント・イーストウッド監督)
主演：クリント・イーストウッド、ジーン・ハックマン、モーガン・フリーマン
アカデミー賞作品賞、監督賞など4部門で受賞。闇夜が印象的な西部劇。陰影を豊かに表現できる35mmフィルムで見える。
3. 『**マディソン郡の橋**』 (1995年、クリント・イーストウッド監督)
主演：クリント・イーストウッド、メリル・ストリープ
イーストウッドとメリル・ストリープが、フォトグラファーと農場の主婦に扮し4日間の知られざる恋を生きる。柔らかな光にあふれた豊かな風景にも注目。



© 1971 Warner Bros. Entertainment, Inc. All Rights Reserved.



© 1992 Warner Bros. Entertainment, Inc. All Rights Reserved.



© 1995 Warner Bros. All Rights Reserved.

4. 『**目撃**』 (1997年、クリント・イーストウッド監督)
主演：クリント・イーストウッド、ジーン・ハックマン
政府ぐるみの犯罪を偶然目撃したプロの泥棒が、巨大な敵にひとり戦いを挑む。
5. 『**真夜中のサバナ**』 (1997年、クリント・イーストウッド監督)
主演：ジョン・キューザック、ケビン・スペイシー
華麗なクリスマスパーティの取材に訪れたルポライターが、奇妙な事件に巻き込まれる。南部ジョージア州の歴史都市サバナを舞台にした、イーストウッドの異色作。
6. 『**トウルー・クライム**』 (1999年、クリント・イーストウッド監督)
主演：クリント・イーストウッド、アイザイア・ワシントン、ジェームズ・ウッズ
執行を翌日に控えた黒人死刑囚の無実を確信した記者が、真相の解明に奮闘する。



© 1996 Castle Rock Entertainment. All rights reserved.



© 1997 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.



© 1999 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.

7. 『スペース カウボーイ』(2000年、クリント・イーストウッド監督)

主演：クリント・イーストウッド、トミー・リー・ジョーンズ

かつて NASA に裏切られ、宇宙への夢を絶たれたチームが、40 年後再び集結し、困難なミッションに挑む。

8. 『ブラッド・ワーク』(2002年、クリント・イーストウッド監督)

主演：クリント・イーストウッド、ジェフ・ダニエルズ

イーストウッド作品の撮影を長く手がけたジャック・N・グリーンに替わり、トム・スターンが初めて撮影を担当した作品。心臓移植を受けた元 FBI 犯罪心理分析官が、ドナーが殺人事件の被害者であることを知り、その真相を探る。

9. 『ミスティック・リバー』(2003年、クリント・イーストウッド監督)

主演：ショーン・ペン、ティム・ロビンズ、ケビン・ベーコン

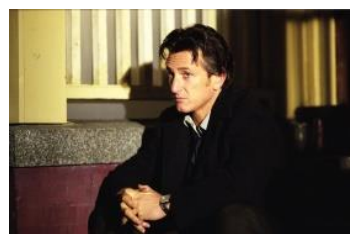
とある殺人事件をめぐる、幼馴染だった 3 人の人生が劇的に変わり始める。ショーン・ペンとティム・ロスがアカデミー賞主演男優賞と助演男優賞を受賞。



©2000 Village Roadshow Films (BVI) Limited. ©2001 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.



© 2002 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.



©2003 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.

10. 『父親たちの星条旗』(2006年、クリント・イーストウッド監督)

『父親たちの星条旗』**[日本語吹替版]** (2006年、クリント・イーストウッド監督)

主演：ライアン・フィリップ、ジェシー・ブラッドフォード

硫黄島の戦いで英雄に祭り上げられた男たちは、政府によって全米ツアーに駆り出される。アメリカにおける英雄とはなにかを問い、硫黄島の戦いの真実を描きだす。公開当時の日本語吹替版も特別上映。

11. 『硫黄島からの手紙』(2006年、クリント・イーストウッド監督)

『硫黄島からの手紙』**[英語字幕付]** (2006年、クリント・イーストウッド監督)

主演：渡辺謙、二宮和也、伊原剛志

硫黄島に送られた日本兵たちは生きて帰れないことを知っていた…。渡辺謙ら日本人キャストで、イーストウッドが硫黄島の戦いを日本兵側の視点から描いた作品。英語字幕付の上映も行う。



© 2005 DreamWorks LLC and Warner Bros. Entertainment Inc.



© 2006 Warner Bros. Entertainment Inc. and DreamWorks LLC. All Rights Reserved.

12. 『グラン・トリノ』 (2008年、クリント・イーストウッド監督)

主演：クリント・イーストウッド、ピー・バン

孤独で偏屈な老人が、アジア系少年とその家族との出会いをきっかけに、守るべきものに目覚める。その衝撃の結末が当時話題を呼んだ必見作。

13. 『インビクタス／負けざる者たち』 (2009年、クリント・イーストウッド監督)

主演：モーガン・フリーマン、マット・デイモン

スポーツの力で人々を団結させられると信じていたマンデラ大統領が、南アフリカのラグビー代表チームキャプテンとともにチームの立て直しを図る。



© 2009 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.



©2010 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.

企画概要

企画名：35mm フィルムで見るクリント・イーストウッドの軌跡

Clint Eastwood on 35mm

会 期：2020年10月29日(木) - 12月6日(日)

会 場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU [2階]、小ホール [地下1階]

※10月29日(木)～11月8日(日)：長瀬記念ホール OZU [2階]

11月10日(火)～12月6日(日)：小ホール [地下1階]

主 催：国立映画アーカイブ、ワーナー ブラザース ジャパン合同会社

H P：https://www.nfaj.go.jp/exhibition/eastwood202009

チケット：チケットぴあにて 10/15(木) 10:00より発売開始！【Pコード：551-118】

チケットは各プログラムの上映2時間前までにご購入ください。

会場でのチケット販売はありません。

上映開始後、遅れての入場はできません。

【前売指定席券】

《定員》長瀬記念ホール OZU：156名／小ホール：80名

※ 新型コロナウイルス感染症予防のため、座席の前後左右を空け、定員数を約 1/2 に制限します。

一般：1,200円
高校・大学生・シニア（65歳以上）：900円
小・中学生：600円
障害者（付添者は原則1名まで）：500円
キャンパスメンバーズ（学生）：700円
キャンパスメンバーズ（教職員）：1,000円

※別途発券手数料がかかります。

※学生、シニア（65歳以上）、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。

【広報用画像やその他本特集に関するお問合せ】

国立映画アーカイブ（上映展示室：横田・玉田・森宗）E-mail：pr@nfaj.go.jp 当館 HP：https://www.nfaj.go.jp/